

第3期「自分の力でやるぞ」を夏休みで実践

校長 館林 美和

第3期は、「自分の生活について振り返り、計画を立てる」→「夏休みで実践」→「夏休み後に成果の確かめ」という取組期間です。児童たちは4月から成長したことを確認し、夏休みに向けて計画づくりをしました。高学年は、ネットやゲーム、SNSに潜む危険について学習する機会をもち、「自分のためになる時間の使い方や判断の大切さ」を学び、夏休みの生活に向けて心を引き締めました。

夏休みは、これまで学校生活で高めてきた力を家庭や地域で発揮し、本物の力にして自信を付ける機会にしてほしいと願っています。学校では、仲間と互いに呼びかけ合って行動を促しながら生活してきました。明日からの家庭中心の生活となった時に、自然な行動となって表れてきたら本物です。私たちが求めている『生きて働く力』となって身に付いていると言えます。

あれもこれもは難しいですが、計画したこと、守るべき約束について、自分から進んで取り組む様子を応援していただけたらと思います。

夏休みだからこそ、こんなところで「落合いいね」づくりを！！

○地域の活動に進んで参加しましょう。

昔からの行事、楽しい活動など、地域で作られているものが多くあります。いろんな方と触れ合い、地域のことを知るチャンスです。

…落合大好き子

○家族や出会った方と進んであいさつを交わそう。

…やさしい子

○自分の命・自分の体は自分で守り、大切にしよう。

…つよい子

○学校では十分できないことに、思いきり挑戦しよう。

…考える子

～すてきなお話 紹介します～

地域の方からお話をいただきました。

大きな荷物を抱えて坂道を歩いていたところ、落合小学校の子が、「手伝いましょうか。」と声をかけてくれました。「大丈夫です。」と返事をしたので、その子たちはそのまま通り過ぎて行きかけたのですが、再び近寄ってきてくれて、「やっぱり手伝います。」と言って、荷物を持って運んでくれました。

やさしさあふれる行動にとっても感激しました。

いつでも、どこでも、だれに対しても思いやりのある行動ができる子が育っていることに嬉しく思います。また、このように温かく見守ってくださる地域のみなさんがみえることにも感謝いたします。

6年生 風流踊り校内発表会

7月16日(水)に、体育館にて全校児童、6年生保護者、地域の方をお招きして校内発表会を行いました。

6年生の風流踊りのスローガンは「響け 届け 轟け ～私達の声・音・情熱・感謝」です。5月からの週1回の練習は、この日まで数えて10回。短期間で、3曲を通して演舞できるまでに仕上げた演奏は、心に響く大変素晴らしいものでした。短期間だったからこそ、1回1回の練習の時間や、日々の生活から仲間と思いや行動を一つにする動きを創り出すことを大切にしてきた6年生です。その成果が、声・音・気迫に表れていました。

おいでん祭の当日には、更に上達した演舞を披露できることでしょう。是非、多くの方に見ていただきたいと思います。

